

日本共産党
街頭演説参院選、タカラさちか必勝、比例5議席、
6人の那覇市議全員勝利を！

7月20日、参院選と同日投票となる見通しの那覇市議選は、投票日まで約2カ月となりました。日本共産党現有6議席の絶対確保をめざし、各地で街頭演説を行いました。上原やすお市議は、オール沖縄の代表、タカラさちか氏、赤嶺政賢衆院議員、比嘉みずき県議とともに訴えました。タカラ氏の訴えの要旨を紹介します。

タカラさちかです。私は、この夏の参議院選挙に出馬を予定しております。決意を固めたばかりでございます。よろしくお願いいたします。

私はこれまで大学研究者として、沖縄大学で務めてまいりました。多くの学生たちに憲法を教え、育ててきましたけれども、私の研究は沖縄の憲法問題、沖縄の基地問題、そして軍人による性暴力問題を研究してきました。これまで研究者として頑張ってきましたけれども、沖縄の状況、軍人による暴力や凶悪犯罪、そして基地の現状は一向によくなりません。そして、また今、私たち沖縄の歴史、沖縄戦の歴史を踏みにじるような動きが非常に活発化している中で、もはや黙っているわけにはいかない、国の政治を変えていかなければならないと強く決意しているところでございます。

みなさんの今の暮らしぶりはいかがでしょう。平和の問題、とてもとても大切です。平和をつくっていくこと、そしてもう一つ私たちが日々の暮らし

を安心して生きていくこと、この2つはどちらも欠かすことができない、とても大切な問題です。今、消費税の負担がとても重い、なかなか生活がよくならない、賃金も上昇しません。本土との賃金の格差もなかなか埋まらない、沖縄がこれだけの基地負担をしていますが、生活はなかなかよくなっていきません。もっとも私たちが生きやすい世の中にしていかなければいけない。頑張って今まで一生懸命に働いてきた。けれども年金だけではなかなか生活できないんだよ。主食のお米だって、2日にいっぺんしか食べられないんだ。そんな声だつて聞かれます。今、悲痛な声が街にはあふれています。私の耳にも届いています。

私は、「生きるを政治の真ん中に」私たちの生きていくということをきちんと実現していくために頑張つてまいりたいと思っています。減税や賃上げ、やらなければいけないことがたくさんあります。だけれども今の政治では、今の自公政権では、実現できませんで

した。私たちが最低限きちんと生きていく、健康で文化的な最低限度の生活を営んでいくために、私は力を尽くしていきたいと思っています。どうかみなさんの力を貸してください。

そして戦後80年、今、私たちの歴史が踏みにじられようとしている現実を前に、このことにもきちんと声をあげていかなければいけないと思っています。歴史を修正するような動き、歪曲する、捏造しようとする動き、これまで沖縄の中で行われてきた歴史教育や私たちが聞いてきた証言者たちの声、積み重ねてきた歴史研究、そういうことを歪曲していく、証言者たちがまるでウソを言っているかのような、そんな歴史の修正に断固として抵抗していかなくてはなりません。

歴史の歪曲の先には何があるのか、それはまた新たに沖縄を戦場にするような、そういう政治が待ち受けています。沖縄を再び戦場にしない。今、島々ですでに進められている軍拡や持ち込まれようとしているミサイル配備など、私は沖縄を戦場にするような軍拡の動きに徹底して抵抗してい

きます。

私たちはまた戦場の中で苦しんではいけない、今までこうやって一生懸命に平和を求めてきました。これからの世代、これからの私たちの沖縄が平和で豊かになっていくために、沖縄の声を政治の真ん中に届け、「生きるを政治の真ん中に」私たち沖縄の人たちのための政治がきちんと実現していくように力を尽くしてまいりたいと思います。

今日、ここに上原やすおさん、一緒に立つてくださっています。私はもっぱら新人ですけれども、今まで市民の声に耳を傾けてきたやすおさんとともに、がんばってまいりたいと思います。みなさん、よろしくお願いします。



タカラ氏とともに選挙必勝に向けアピールする上原やすお市議候補